



## 2026年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年3月13日

上場会社名 株式会社山忠 上場取引所 名  
 コード番号 391A URL <https://www.yamachuu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山崎 恭裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼財務部長 (氏名) 細江 盛方 TEL 052-445-0070  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年4月期第3四半期の連結業績（2025年5月1日～2026年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	3,730	—	607	—	529	—	421	—
2025年4月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年4月期第3四半期 421百万円 (—%) 2025年4月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	351.79	348.96
2025年4月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2025年4月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年4月期第3四半期の数値及び2026年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社株式は2025年7月29日付で名古屋証券取引所メイン市場に上場したため、2026年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2026年4月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第3四半期	13,465	5,033	37.4
2025年4月期	12,235	4,269	34.9

(参考) 自己資本 2026年4月期第3四半期 5,033百万円 2025年4月期 4,269百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2026年4月期	—	0.00	—	—	—
2026年4月期（予想）	—	—	—	78.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年4月期の連結業績予想（2025年5月1日～2026年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,609	3.1	706	2.4	611	0.0	463	△43.3	388.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年4月期3Q	1,261,100株	2025年4月期	1,086,000株
② 期末自己株式数	2026年4月期3Q	7,500株	2025年4月期	7,500株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年4月期3Q	1,197,589株	2025年4月期3Q	—株

(注) 2025年4月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年4月期第3四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績が比較的堅調に推移するなど国内経済活動の正常化が緩やかに進んでいるものの、物価上昇の継続や金融政策の動向を背景とした金利上昇懸念、米国の通商政策や世界各地における地政学的リスクの長期化など、当社グループを取り巻く社会経済環境の動向については引き続き注視していく必要がある状況であります。

このような状況のもと、開発セグメントにおいては都市型分譲マンション及び宅地分譲の積極的な企画・開発、販売、ホテルセグメントにおいてはインバウンド対応を強化するなど各種の取り組みを推進してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績については、売上高3,730百万円、営業利益607百万円、経常利益529百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益421百万円となりました。

セグメントごとの経営成績については、以下のとおりであります。

#### (開発セグメント)

インベストメント事業では、パルティール名西（名古屋市西区）計7戸、パルティール高畑アネックス（名古屋市中川区）計18戸、パルティール笠寺（名古屋市南区）計19戸、パルティール八田（名古屋市中川区）計12戸、プログレッソ岐阜駅前（岐阜県岐阜市）計10戸、合計66戸の都市型分譲マンションを販売いたしました。

ソリューション事業では、リベルタ豊山豊場（愛知県西春日井郡豊山町）計2区画、リベルタ堀之内IV（愛知県海部郡大治町）計2区画、リベルタ昭和区長池町（名古屋市昭和区）1区画、リベルタ大治町砂子（愛知県海部郡大治町）計2区画、リベルタ西区清里町（名古屋市西区）計12区画、あま市下萱津池端（愛知県あま市七宝町）など合計32物件を販売いたしました。

これらの結果、開発セグメントについては、売上高2,277百万円、セグメント利益245百万円となりました。

#### (ストックセグメント)

マネジメント事業では、開発セグメントにおけるパルティールマンションシリーズの積極的な販売のもと、プロパティマネジメント及びビルメンテナンスなどを推進いたしました。

レンタル事業では、貸会議室「タイムオフィス名古屋」において、アフターコロナからの回復基調の継続によって利用時間の増加や稼働率の上昇が見られております。レンタルオフィス「オフィスプラス名古屋」「オフィスプラス栄」においても、ワークプレイスの多様化に伴うレンタルオフィス需要の高まりを背景にいずれも稼働率の上昇が見られております。

これらの結果、ストックセグメントについては、売上高429百万円、セグメント利益139百万円となりました。

#### (ホテルセグメント)

ビジネスホテル事業では、国内外の利用者に向けて、主要なOTA（オンライントラベルエージェント）へのリスティング広告の掲出やクーポン発行等によるインターネット媒体を活用した広告宣伝、付加価値の高い宿泊プランの販売、顧客サービスのクオリティ強化などを推進してまいりました。

これらの結果、ホテルセグメントについては、売上高1,023百万円、セグメント利益223百万円となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,229百万円増加の13,465百万円となりました。これは主に、流動資産のうち現金及び預金が313百万円及び販売用不動産が1,748百万円増加した一方、仕掛販売用不動産が1,119百万円減少したことなどによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて465百万円増加の8,432百万円となりました。これは主に、流動負債のうち短期借入金が1,439百万円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が449百万円減少したことなどによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて763百万円増加の5,033百万円となりました。これは主に、上場に伴う新株発行や新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ198百万円増加したこと及び利益剰余金が367百万円増加したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期の業績予想については、2025年7月29日公表の「名古屋証券取引所メイン市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,919,008	2,232,112
売掛金	110,801	86,713
販売用不動産	2,209,007	3,957,439
仕掛販売用不動産	1,696,972	577,579
未成工事支出金	1,539	1,252
貯蔵品	3,841	3,594
その他	48,217	254,699
貸倒引当金	△1,282	△1,043
流動資産合計	5,988,104	7,112,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,481,702	2,361,368
土地	2,806,944	3,040,059
その他	113,171	101,344
有形固定資産合計	5,401,819	5,502,772
無形固定資産		
のれん	17,363	4,340
その他	21,240	20,272
無形固定資産合計	38,603	24,613
投資その他の資産		
その他	807,155	825,618
投資その他の資産合計	807,155	825,618
固定資産合計	6,247,578	6,353,004
資産合計	12,235,682	13,465,352
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,400	1,100
短期借入金	690,000	2,129,786
1年内償還予定の社債	156,000	106,000
1年内返済予定の長期借入金	988,220	539,200
未払法人税等	294,976	3,178
契約負債	34,103	20,019
賞与引当金	—	15,948
役員賞与引当金	—	16,890
その他	457,842	324,970
流動負債合計	2,636,542	3,157,092
固定負債		
社債	206,000	138,000
長期借入金	4,405,744	4,408,455
役員退職慰労引当金	238,594	242,071
退職給付に係る負債	31,169	35,236
資産除去債務	88,726	89,028
その他	359,727	362,359
固定負債合計	5,329,961	5,275,149
負債合計	7,966,503	8,432,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,000	297,225
資本剰余金	55,400	253,625
利益剰余金	4,124,154	4,491,529
自己株式	△9,375	△9,375
株主資本合計	4,269,179	5,033,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	105
その他の包括利益累計額合計	—	105
純資産合計	4,269,179	5,033,110
負債純資産合計	12,235,682	13,465,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
売上高	3,730,686
売上原価	2,464,195
売上総利益	1,266,491
販売費及び一般管理費	658,662
営業利益	607,828
営業外収益	
受取利息及び配当金	4,243
受取手数料	2,641
その他	825
営業外収益合計	7,710
営業外費用	
支払利息	69,049
支払手数料	17,186
営業外費用合計	86,236
経常利益	529,302
特別利益	
固定資産売却益	84
保険解約返戻金	48,978
特別利益合計	49,062
税金等調整前四半期純利益	578,364
法人税等	157,064
四半期純利益	421,300
親会社株主に帰属する四半期純利益	421,300

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)	
四半期純利益	421,300
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	105
その他の包括利益合計	105
四半期包括利益	421,405
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	421,405

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2025年5月1日至2026年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結損益計算書 計上額 (注) 1
	開発 セグメント	ストック セグメント	ホテル セグメント	計	
売上高					
不動産販売	2,177,547	—	—	2,177,547	2,177,547
手数料収入	33,948	252,544	—	286,493	286,493
ホテル収入	—	—	1,023,147	1,023,147	1,023,147
顧客との契約から生じる収益	2,211,496	252,544	1,023,147	3,487,188	3,487,188
その他の収益(注) 2	66,204	177,293	—	243,498	243,498
外部顧客への売上高	2,277,701	429,838	1,023,147	3,730,686	3,730,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,277,701	429,838	1,023,147	3,730,686	3,730,686
セグメント利益	245,506	139,024	223,297	607,828	607,828

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる賃貸収入であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月29日付で名古屋証券取引所メイン市場に上場いたしました。上場にあたり、2025年7月28日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式150,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ179,400千円増加しております。

その他、新株予約権の行使による増加も含めた結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が297,225千円、資本剰余金が253,625千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間  
(自2025年5月1日  
至2026年1月31日)

減価償却費	131,767千円
のれんの償却額	13,022